

デート DV 加害経験と愛着スタイル及び感情価との関連

松野 真 (昭和学院短期大学)

キーワード: デート DV, 加害者

目 的

これまで親密な関係にあるパートナー間の暴力を引き起こす要因は、ジェンダーを中心に説明されてきたが、ジェンダーの視点だけからでは十分に説明できない(中村 2011)。また, Dutton (2007・2011)は, 親密な関係にあるパートナー間の虐待を説明できる変数として, 愛着の形成過程を取り上げ, 愛着スタイルが加害行為に与える影響を指摘した。

本研究では, ジェンダー以外の要因として, パートナーに対するダメージ認知, 成人愛着スタイル, デート DV に関連深い諸対象に対する感情価を取り上げ, デート DV の身体的暴力, 精神的暴力, 性的暴力との関連について男女別に検討した。

方 法

調査対象者: 関東・北陸地方の大学生を対象に質問紙形式で実施した。「付き合い経験あり」と回答した 457 名 (男性 217 名, 女性 240 名) を分析対象とした。平均年齢は, 19.31 歳, SD=1.58 であった。

調査手続き及び実施時期: 2013 年 7 月から 9 月にかけて無記名で実施し, 回答は拒否できること, 回答により不利な扱いは受けないことを説明した。

加害経験頻度, ダメージ認知の評価: デート DV となり得る 8 行為を選出し, 加害経験頻度について 5 段階で評定を求めた。8 行為の加害経験頻度を加算した結果を「全暴力得点」とした。また, 選出した 8 行為を, 行為が示す一般的な意味を基に, 身体的暴力 2 行為, 精神的暴力 4 行為, 性的暴力 2 行為に分類し, 各暴力の加害経験頻度得点を加算した結果を「身体的暴力得点」「精神的暴力得点」「性的暴力得点」とした。さらに, パートナーへのダメージ認知として, 「どれほどパートナーを傷つけるか」について 5 段階で評定を求め, 8 行為のダメージ認知評価を加算した結果を「ダメージ認知得点」とした。

成人愛着スタイルの評価: 中尾・加藤 (2004) が作成した成人愛着スタイル尺度 (ECR) 日本語版を用いた。「親密性の回避因子」と「見捨てられ不安因子」から, それぞれ因子負荷量が高い 2 項目を選出した。

デート DV 感情イメージ調査票による評価: デート DV に関連する諸対象に対してポジティブなイメージを持っているか, ネガティブなイメージを持っているかについて, 8 感情語と 10 対象語の対を提示し, 感情語と対象語が「どの程度ぴったりする

か」について 5 段階で評価を求め, 感情価を算出した。因子分析 (主因子法, バリマックス回転) の結果, 「親密さ因子」と「他者コントロール因子」の 2 因子を得た。各因子を構成する対象語の感情価を加算した結果をそれぞれ「親密さ因子得点」, 「他者コントロール因子得点」とした。

結果と考察

全暴力得点の標準得点を求め, 0 点以上の者を「加害経験頻度高群」(男性 99 名, 女性 70 名, 計 169 名) として分析した。

ダメージ認知, 親密性の回避, 見捨てられ不安, 親密さ因子, 他者コントロール因子と関連がある暴力を検討するため, ピアソンの積率相関係数を男女別に算出した。パートナーへのダメージ認知が低いほど, 男性では身体的暴力及び精神的暴力が高く, 女性では身体的暴力及び全暴力が高くなることが特徴的であった。男性では, 見捨てられ不安が高いほど身体的暴力が低くなるが, 逆に女性では, 精神的暴力及び全暴力が高くなることが特徴的であった。また, 男性では, デートや恋愛といった親密さを示す対象語にネガティブなイメージを持つほど身体的暴力及び全暴力が高いことが特徴的であった。さらに男性では, 束縛や服従といったパートナーへのコントロールを意味する対象語にポジティブなイメージを持つほど, 身体的暴力, 性的暴力及び全暴力が高くなることが特徴的であった。

加害経験頻度高群では, ダメージ認知, 成人愛着スタイル, デート DV に関連する諸対象の感情価と加害経験頻度は, 暴力の種類ごとに関連がある可能性が示唆されるとともに, その関連性には性差があることが示された。

Table1 男性における各要因と加害経験頻度との相関

	身体的暴力	精神的暴力	性的暴力	全暴力
ダメージ認知	-0.21 *	-0.21 *	0.07	-0.16
親密性の回避	0.05	0.10	-0.10	0.03
見捨てられ不安	-0.22 *	0.04	-0.05	-0.08
親密さ因子	-0.35 **	-0.14	-0.03	-0.21 *
他者コントロール因子	0.26 *	0.14	0.30 **	0.33 **

* $p < .05$ ** $p < .01$

Table2 女性における各要因と加害経験頻度との相関

	身体的暴力	精神的暴力	性的暴力	全暴力
ダメージ認知	-0.31 **	-0.14	-0.11	-0.27 *
親密性の回避	0.20	-0.04	0.01	0.06
見捨てられ不安	-0.01	0.34 **	0.04	0.24 *
親密さ因子	-0.03	-0.08	0.02	-0.03
他者コントロール因子	-0.01	0.01	0.22	0.09

* $p < .05$ ** $p < .01$